



UK729 取扱説明書

ご愛用者登録をしてアンケートに答えると
抽選でプレゼントが当たる!

詳しくはWEBサイトをご覧ください。
<https://www.carmate.co.jp/club/>



INNO 品番: UK729

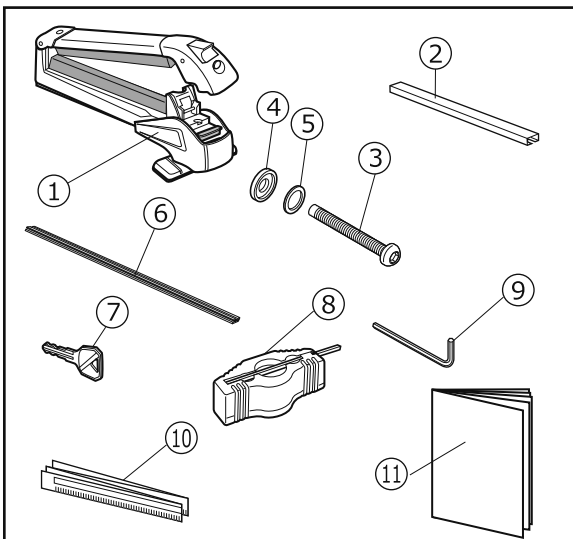
本品をお使いになる前には必ず本書と別売取付フック付属の取扱説明書をよくお読みください。本品をお使いになる前には必ず本書と取付フック付属の取扱説明書をよくお読みください。本書は、お使いになる方がいつでも読むことができる場所に保管しておいてください。本品をゆずられる場合は、本書も併せてお渡しください。ご不明な点がございましたら、本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。

本書で使われている記号の内容は以下の通りです。

- 警告** 警告事項を守らないと、キャリアや積載物が脱落し、死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。
- 注意** 注意事項を守らないと、ケガを負ったり、製品・車両・積載物が損傷するおそれがあります。
- 参考** 本品を使用する上で、知っておいていただきたい事項です。

部品内容を確認する

本品には、次の部品が入っています。内容が正しいかどうか確認してください。万一、不足部品がありましたら、本書記載のサービスセンターにお問い合わせください。



No.	部品	数量
①	キャリア本体	4
②	フレーム	2本
③	取付ボルト※	4本
④	皿ワッシャ	4個
⑤	樹脂ワッシャ	4個
⑥	フレームモール	1本
⑦	キー	2個
⑧	トルクノブ	1個
⑨	六角レンチ	1本
⑩	専用メジャー	1枚
⑪	取扱説明書(本書)	1部

※取付ボルトはキャリア本体に組み付けた状態で梱包されています。



警告
本品の取り付けには「取付フック(別売)」が必要です。店頭のINNO車種別適合表で必ず確認してください。

使用工具を準備する

本品の取り付けには、次の工具が必要です。

使用工具	
ハサミ	六角レンチ(本品付属品)
メジャー(1000mm迄測定できるもの)	鉛筆

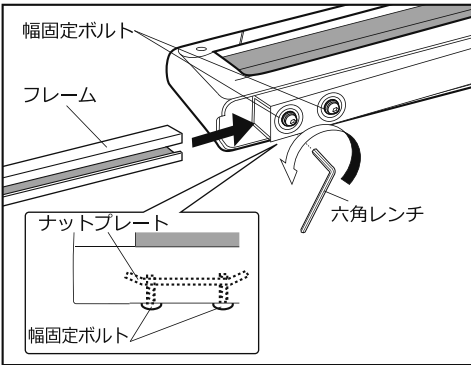
取付準備

この「取付方法」は、本品の一般的な取付方法についての説明です。車両により取付位置の寸法や取付方法が異なります。必ず本書と別売の「取付フック」の取扱説明書をよく読んでキャリアの取り付けを行ってください。「取付フック」にお客様のクルマの車種別取付方法が付属されていない場合は、サービスセンターへお問い合わせください。異なるクルマへの取り付けはしないでください。

参考

- 車の屋根をきれいに洗ってください。汚れやホコリは屋根のキズの原因になります。
- キャリアを取り付けると車体とキャリアの接触する部分に多少の取付跡が付きますのでご了承ください。
- ルーフ塗装面の保護にベースシート(別売)を使用することをおすすめします。

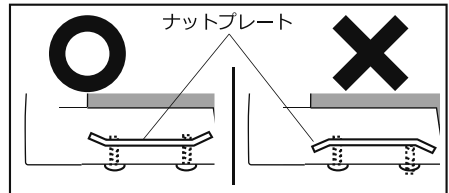
キャリアの幅調節



- 1 六角レンチで幅固定ボルトをゆるめ、フレームを差し込み、キャリアを仮組みします。幅固定ボルトは、ナットプレートが外れない程度にゆるめる。

警告

ナットプレートが外れてしまった場合は、向きを間違えないように再度組み付けてください。



車種名、タイプ、年式を確認

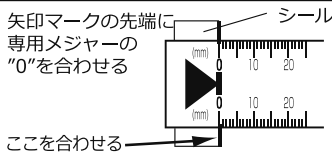


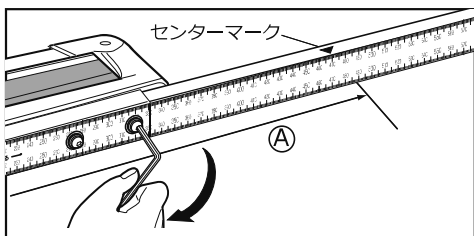
- 2 取付フック付属の車種別取付方法を見て、キャリアの幅を調整します。専用メジャーを使い、キャリアの幅を車種別取付方法の(A)寸法に合わせる。

[例] トヨタ プリウス (H21.5~H29.2) の場合

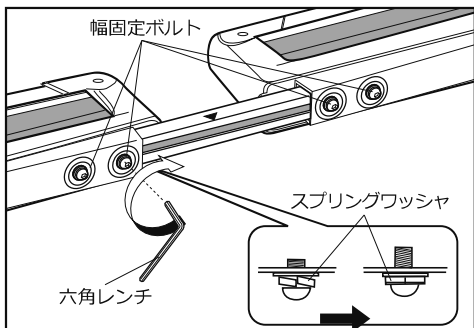


車種により寸法は異なります。





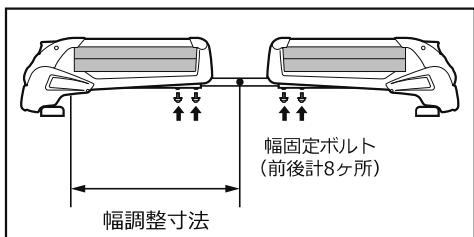
3 センターマークを①寸法に合わせて、専用メジャーの穴から、幅固定ボルトを仮止める。



4 六角レンチの長い方を持ち、4ヶ所の幅固定ボルトをスプリングワッシャが平らになるまで締め込む。その上で、さらに固くなるまで締め込む。

警告

安全上、重要なボルトです。前後で計8ヶ所のボルトにユルミがないように確実に締めてください。

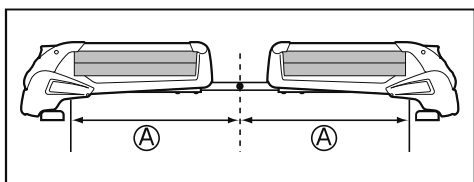


警告

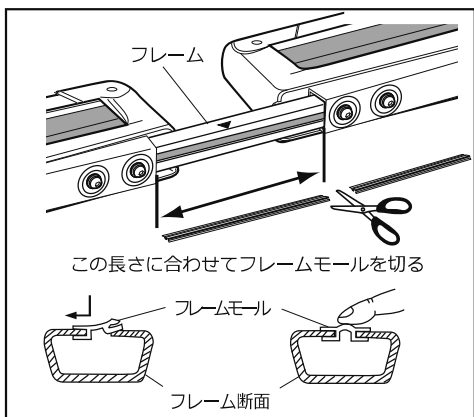
幅調整寸法は必ず指定寸法に合わせてください。

幅調整寸法は車種ごとに指定されています。取付フック付属の「車種別取付方法」に記載された寸法に合わせて、本書に従って調整してください。

幅調整時、必ず前後計8ヶ所の固定ボルトをユルミがないように確実に締めてください。



5 幅調整の寸法に間違いがないか、再度確認する。



6 フレーム裏側のミゾの長さに合わせてフレームモールをハサミで切り、ミゾにはめる。フレーム裏側のミゾを全てふさがないと風切り音が生じます。

車の取付位置の確認

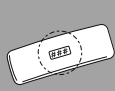
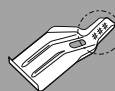
車種別取付方法

【例】トヨタプリウス (H21.5~H29.2) の場合

フック

フック

ベース



T115 x 2

172 x 2

402 x 4

【例】トヨタプリウス (H21.5~H29.2) の場合

ベースとフックの番号と取付位置

■ 締付けると、ベースが多少外側にずれ、図のようになります。

F : 前側 (左右共通)



車前前側



R : 後側 (左右共通)



1

取付フック付属の「車種別取付方法」を見て、フック/ベースの番号を確認する。

⚠ 警告

車種によっては、フック/ベースは前後左右で異なる番号を使用します。必ず確認してください。

【例】トヨタプリウス (H21.5~H29.2) の場合

前後キャリア取付位置を測定する

ⓑ = 300 mm

Ⓒ = 400 mm

F: 前側キャリア取付位置

R: 後側キャリア取付位置



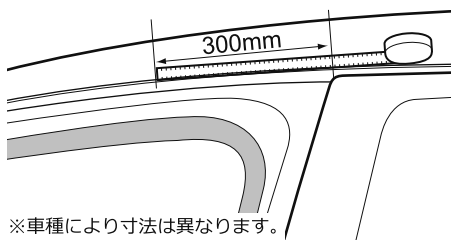
※車種により寸法は異なります。

2

「車種別取付方法」の寸法に合わせて、キャリアの取付位置を測定する。

⚠ 注意

車種により寸法は異なります。取り付ける車種の寸法に合わせてください。



※車種により寸法は異なります。

3

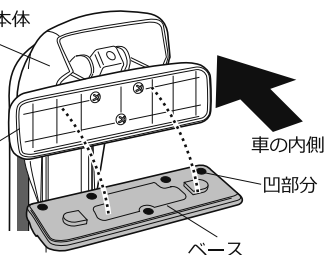
ベースをキャリア本体にはめる。

📖 参考

ベースは、丸い凹部分が4個ある側がクルマの内側になります。

キャリア本体

ベース部

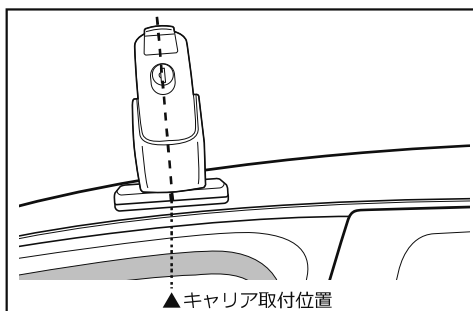


車の内側

ベース

4

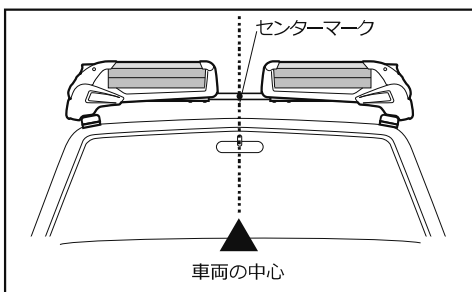
キャリア取付位置とベースの中心を合わせてキャリアを屋根に置く。



取付方法

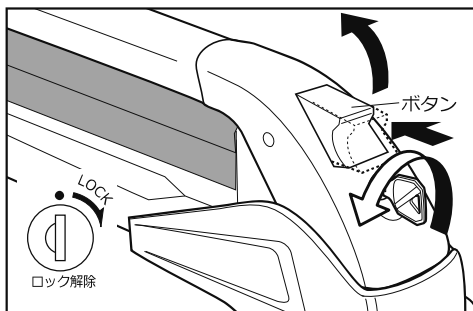
1

車両の正面から見てキャリアがルーフの中央に載るように調整する。



2

カギ穴にキーを差込み“左”の方向に回してロックを解除し、ボタンを押してクランプアームを開ける。



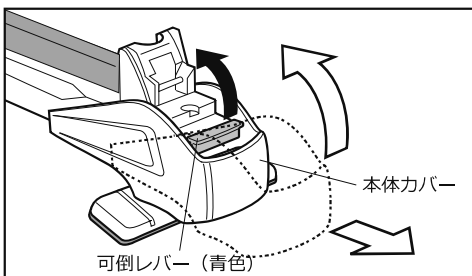
参考

キーをロックしないとキーが抜けない安全機構になっています。

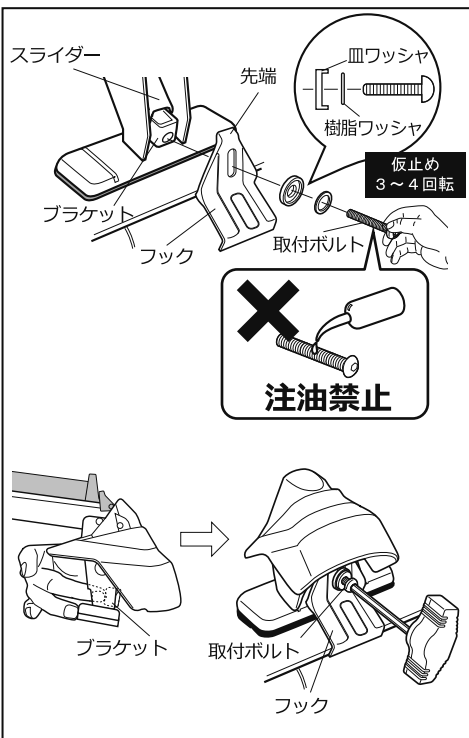
もう片方のクランプアームを開ける時は、キーをロックの位置にまわし、キーを抜いてください。

3

可倒レバー（青色）を上げ、本体カバーを手前に引き、さらに上に回転させて持ち上げる。



4 フックをルーフに引掛け、皿ワッシャと樹脂ワッシャと取付ボルトをブラケットに差し込む。



警告

- 皿ワッシャ、樹脂ワッシャは必ず図の向きで取付けてください。
- フックの先端は、スライダーに添うように当ててください。

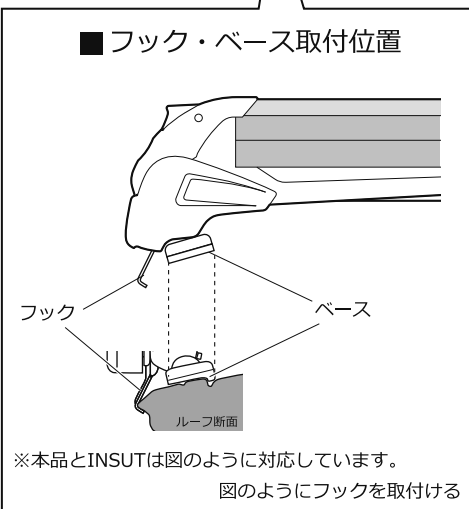
フックをブラケットに取付ける際、取付ボルトを手で3~4回転ほど仮止めしてから、付属のトルクノブで締め付けてください。

注意

- 取付ボルトをななめに締付けると、取付ボルトのネジ山がつぶれてしまい、取付けできなくなることがあります。必ず最初は手で仮止めしてください。
- 取付ボルトにグリース等の油類は絶対につけないでください。締めすぎにより、車両やフックが変形する場合があります。

車種別取付方法

■フック・ベース取付位置



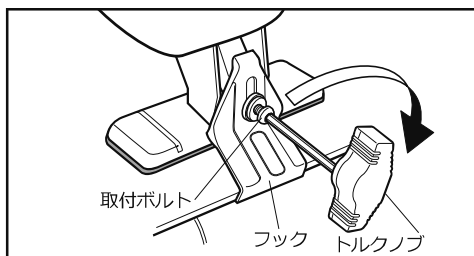
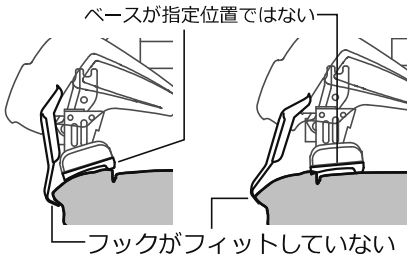
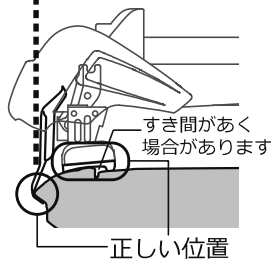
5 取付フック付属の「車種別取付方法」を見て、フックとベースの取付位置をイラスト通りに合わせる。

参考

- 車両の製造上の原因によりドアと車体の隙間には、バラツキが生じます。隙間が特に狭い場合は、「取付フック」が窓ガラスやドア枠に付いているゴムに強くあたり損傷するおそれがあります。強く当たる場合は、ディーラーでドアの建て付けを修正してください。
- 車種によりイラストは異なります。取付ける車種のイラストを参照してください。

○ フックはほぼ
垂直になります。

✕ キャリアが車の中心に合っていないかたり、幅調整を誤っているときちんと取付けできません。



6 取付ボルトを付属のトルクノブが空転するまで**左右交互**に均等に締付ける。

参考

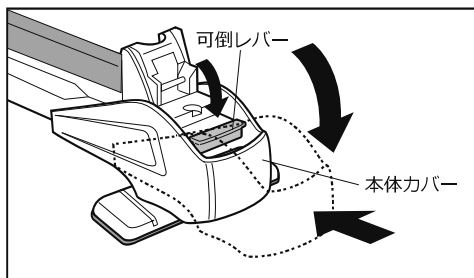
トルクノブは、3N・m以上で締付けると「カチカチ」と空転します。

注意

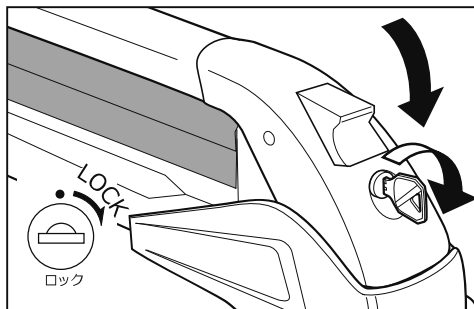
- 片側のみを締めるとキャリアが正確な位置からずれます。必ず**左右交互**に締めてください。
- ボルトを過度に締付けると、ルーフやモール端を傷つけるおそれがあります。必要以上の締付けはしないでください。

警告

スキー・ストック・スノーボードを積載すると、ボルトにユルミが生じるおそれがあります。積載後必ず増締めしてください。



7 本体カバーを下げ、奥にはめる。
可倒レバーを下げる。



8 クランプアームを閉めて、キーを“右”方向に回してロックし、キーを抜く。

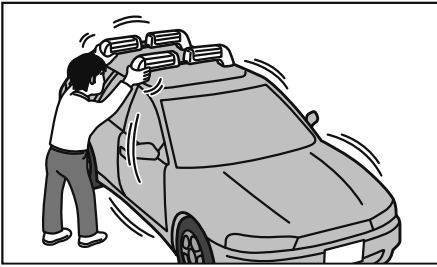
警告

積載する時は、クランプアームを確実に閉じて、必ずキーをロックしてください。

注意

本体カバーが正しくはまってないとクランプアームを閉めることができません。

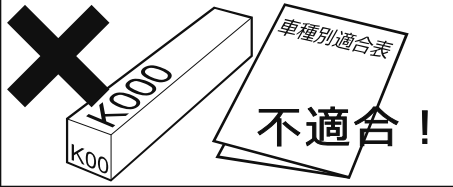
キャリア取付後の確認



前後のキャリアをつかんで、前後左右に強くゆすって装着状態を確認する。
車が揺れるくらいゆすっても、キャリアがずれなければOKです。

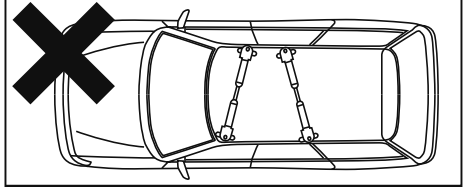
警告

適合車種以外の車両への使用禁止



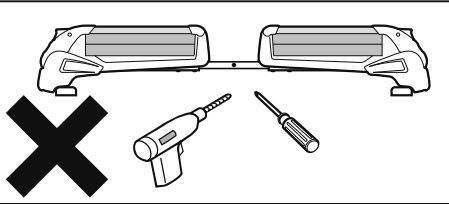
車種別適合表に記載されている、適合以外の車両への取付はしないでください。また、「取付フック」(別売)は、必ず車両と適合するものを取付けてください。

取付位置の注意



キャリアは、必ず車両の進行方向に対して直角に取付けてください。

改造禁止



キャリアに穴を開けたり、曲げたりする改造をしないでください。

使用方法

スキーのみ	6セット※1
スキー+ストック	各4セット※1
スノーボードのみ	4台※2
スノーボード +スキー	スノーボード2※2 +スキー3※1

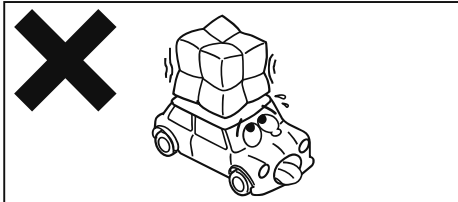
※1 カービングスキー等、スキー板の幅により積載台数が少なくなる場合があります。

※2 スノーボードの積載台数は、車種・バインディングの大きさにより少なくなる場合があります。

※車種により、ルーフの強度が弱いため積載台数に制限がある場合があります。店頭の車種別適合表でご確認ください。

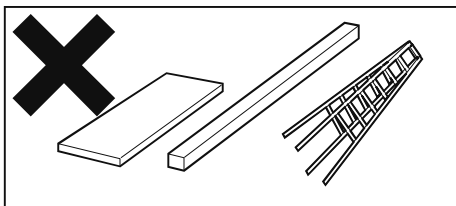
警告

最大積載量を超えた積載禁止



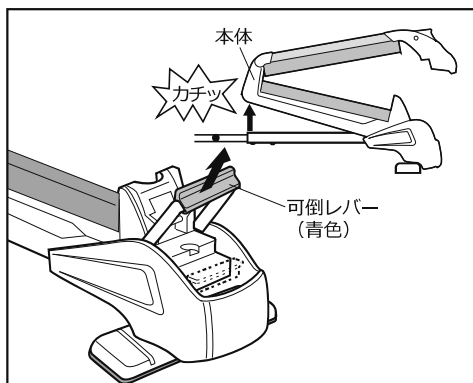
最大積載量を超えた積載はしないでください。

スキー、スノーボード、ストック以外の積載禁止



スキー、ストック、スノーボード以外のものを積載しないでください。

角度調整する



上げるとき

クランプを開けて、青い可倒レバーを手前に引きながら本体を上げ、「カチッ」と音がする位置で固定する。

下げるとき

本体を支えながら、青い可倒レバーを手前に引き、本体をゆっくり下ろして、「カチッ」と音がする位置で固定する。

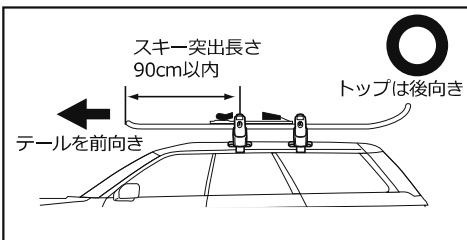
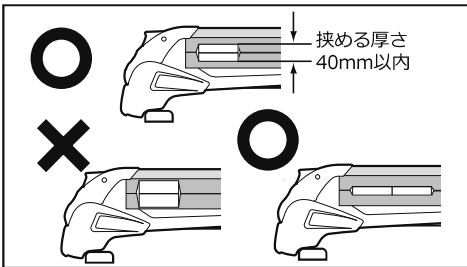
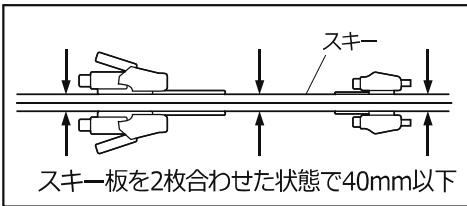
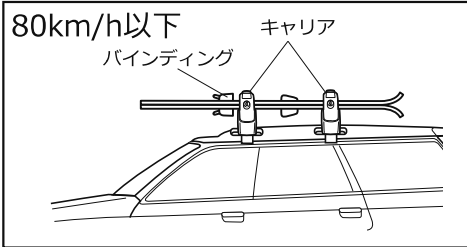
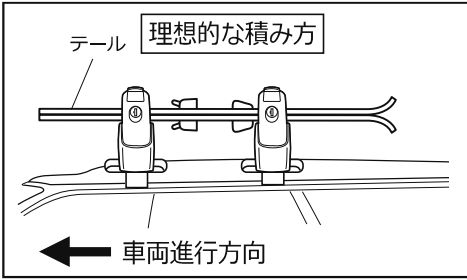
注意

- スキー等を積載した状態では角度調整しないでください。手をはさむなどケガ、事故につながるおそれがあります。
- 角度調整するときに手をはさまないように十分に注意してください。

参考

「カチッ」と音がしない場合は、可倒レバーから手をはなし、本体を上下に少し動かしてください。

積載する



スキーの積載方法

スキーは2枚合わせた状態で、テールを車両の進行方向に向け積載する。

スキーやスノーボードのバインディングが前後キャリアの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側キャリアの前方に出して積載する。

この場合、80km/h以下で走行してください。

⚠注意

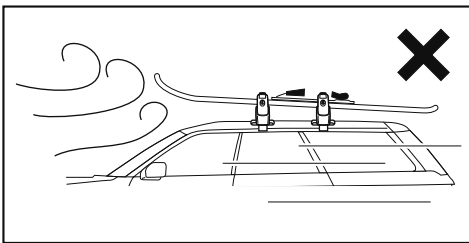
厚みが40mmを超えるものは積載しないでください。
キャリアで保持する部分のスキーの厚みが2枚合わせて40mmを超えると、キャリアが損傷するおそれがあります。

カービングスキー積載の注意

スキーに一体型バインディングやプレートが付いていて、合わせた状態でキャリアに挟めない場合は、スキーを合わせずに、バラして積載する。

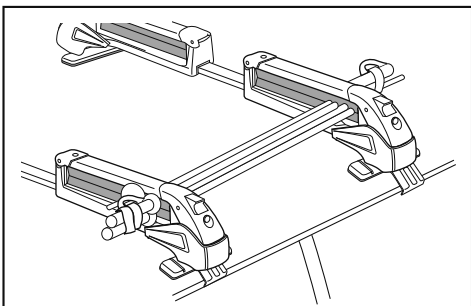
スキー板をバラして積載する場合は、下記の条件を守ってください。

- スキーはテールを前に向けて積載する。
- バインディングが前後のキャリアの間に入らない場合は、前にずらす。
- 前側キャリアから突出する長さは90cm以内にする。
- キャリアの片側に積載する板の厚みの差は10mm以内とする。



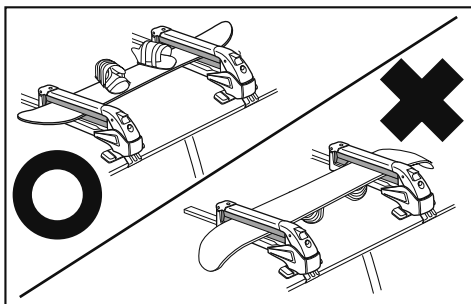
警告

積載条件を守らずにスキーを積載すると、走行中の風圧等でキャリアや積載物が脱落するおそれがあります。



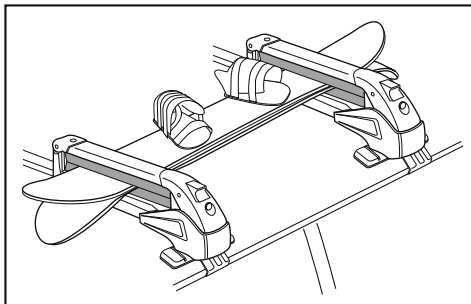
ストックの積載方法

ストックのベルトがルーフに当たらないようにグリップなどにかからめて固定してから積載する。



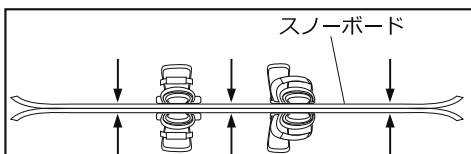
スノーボードの積載方法

- ① スノーボードを1台積載する場合
バインディングを上に向けて積む。
- ② スノーボードを2台積載する場合
キャリアの片側に2台合わせて積むか、キャリアの両側に1台ずつバインディングを上に向けて積む。
- ③ スノーボードを3台積載する場合
キャリアの片側に2台合わせて積み、反対側に1台をバインディングを上に向けて積む。
- ④ スノーボードを4台積載する場合
キャリアの両側に2台ずつ合わせて積む。



注意

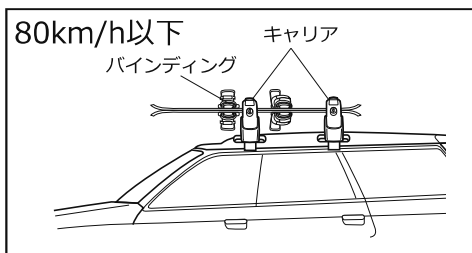
バインディングやリシューコードがルーフに当たらないようにベルトなどで固定して積載してください。



注意

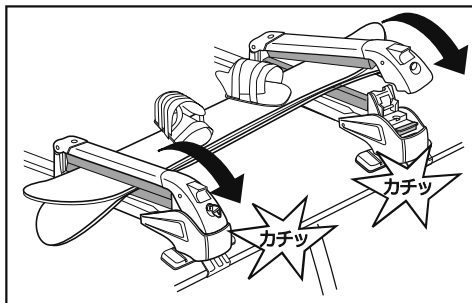
本品には、キャリアで保持する部分のスノーボードの厚みが2台合わせて40mm、幅が290mmを超えるものは積載しないでください。

スノーボードを2台合わせた状態で40mm以下

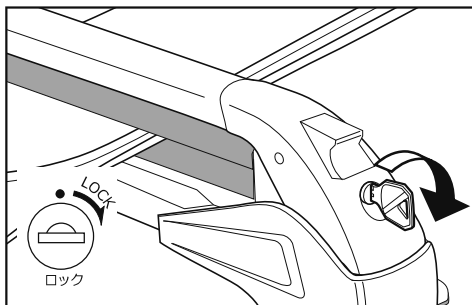


スキーやスノーボードのバインディングが前後キャリアの間に入らない場合は、片方のバインディングを前側キャリアの前方に出して積載します。

この場合、80km/h以下で走行してください。



1 クランプを「カチッ」と音がするまで閉める。



2 キーを“右”方向に回してロックし、キーを抜く。

警告

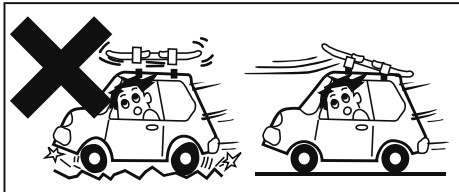
積載する時は、クランプアームを確実に閉じて、必ずキーをロックしてください。

走行する

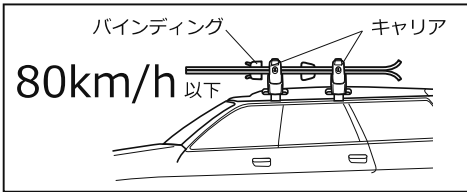
1 走行前に前後キャリアのボルトにユルミがないように増し締めする。

2 スキー・スノーボード積載に適した走行をする。

法定速度以下での走行

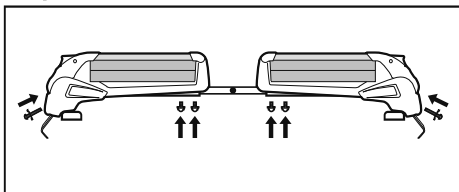


積載時は必ず法定速度以下の速度で走行してください。さらに、強風時や悪路では充分速度をおとして走行してください。



スキーやスノーボードのバインディングが前後キャリアの間に入らない場合は、80 km/h 以下で走行してください。

増締め確認



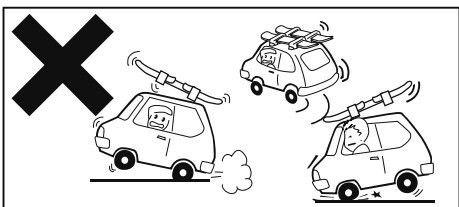
走行前に必ず積載物を載せて、前後キャリア合せて12ヶ所のボルトにユルミがないか確認してください。ユルミがある場合は増締めしてください。

ケース、保護用ビニール袋の使用禁止



積載時には、スキーケースやスノーボードケース、保護用ビニール袋を使用しないでください。

急発進、急ハンドル、急ブレーキの禁止



急発進、急ハンドル、急ブレーキはなるべく避けてください。また、やむを得ず無理な走行をした場合は必ずキャリアの取付状態を確認してください。

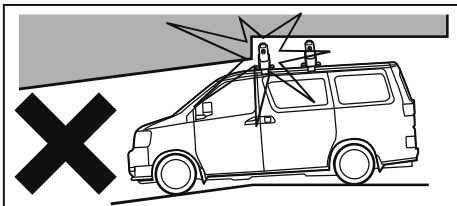
横風、突風注意



トンネル出口や橋の上などで、強い横風をうけた場合、安全な場所でキャリアのガタツキ/ボルトのユルミ等異常がないか確認してください。

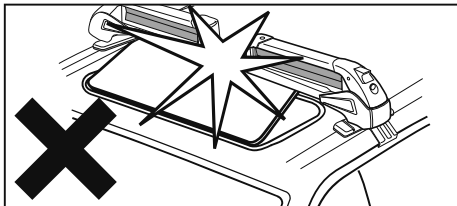
⚠ 注意

車高注意



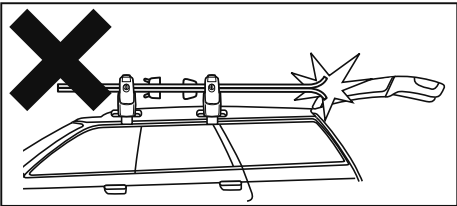
キャリア装着時は、車高が高くなっておりま
すので、注意して走行してください。

サンルーフの開閉禁止



キャリアを取付けた状態で、サンルーフを開閉
しないでください。

リアゲート開閉注意



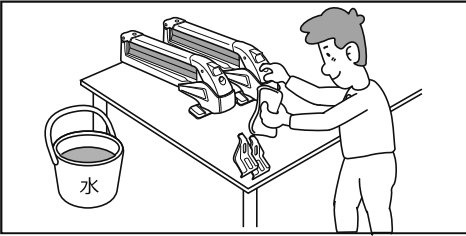
リアゲートやトランクを開ける時は、スキーや
スノーボードに当てないように注意してくださ
い。

洗車機の使用禁止



洗車機にかける時は、キャリアを外してくださ
い。

日常のお手入れ

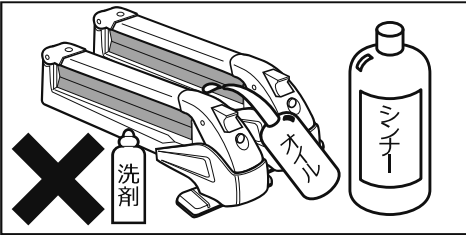


キャリアが汚れた場合は、水を含ませてタオルで汚れを取除き、日陰でよく乾燥させます。

⚠️ 注意

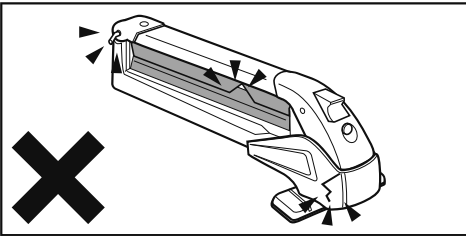
本体の変色、ヒビ割れの原因になりますので下記の事項を守ってください。

- 洗剤（特にアルカリ性洗剤）やワックスは使用しないでください。
- シンナーなどの溶剤を使用しないでください。
- ビスやボルトへの給油はしないでください。



使用したキャリアは、下記の点検をします。

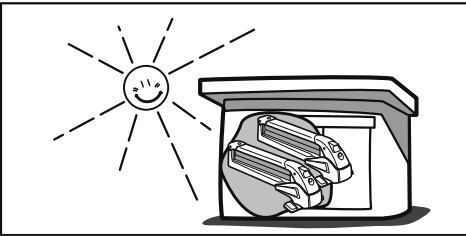
- 1) フックに変形がないか点検する。もし、変形していれば交換する。
- 2) ラバークッションに亀裂、損傷がないか点検する。もし亀裂、損傷があれば交換する。
- 3) クランプアームやボタン等に損傷、破断があれば使用を中止する。



直射日光の当たらない乾燥した屋内に、キャリアを保管します。

⚠️ 注意

キャリアを使用しない時は、雨などによるサビ、紫外線によるゴムやプラスチックの劣化を防ぐために、車両から外して保管してください。

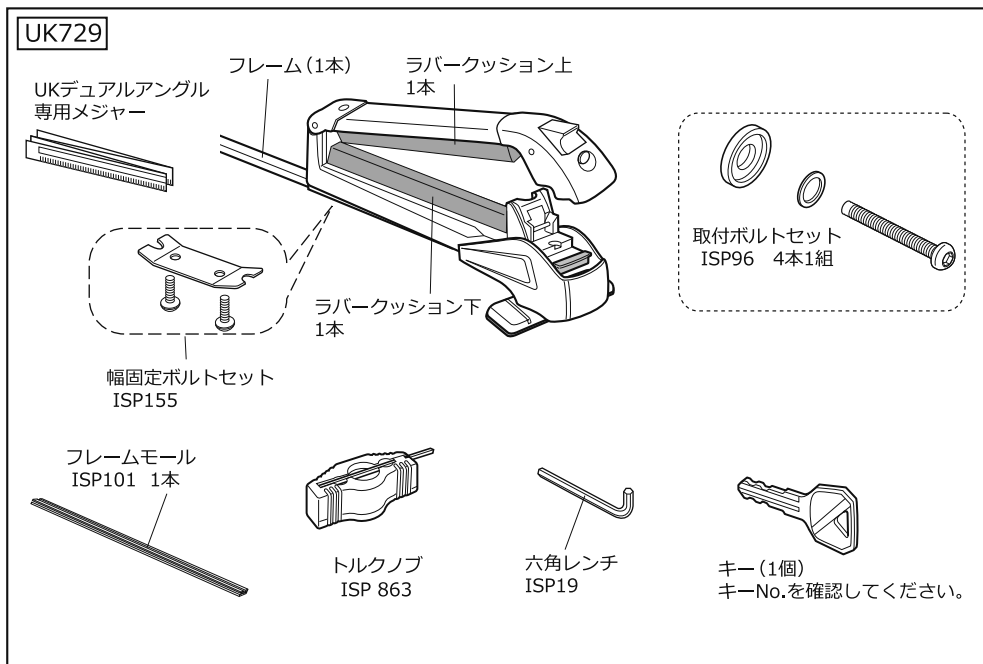


純正補修パーツのご案内

本品には下記の純正補修パーツがあります。お求めの際は、キャリアを購入された販売店にパーツまたはパーツ名を指定してご注文ください。

参考

本品及び純正補修パーツの仕様と外観は改良のため予告なく変更することがあります。



お問い合わせ先

本品についてのお問い合わせ・補修パーツのご注文は、下記サービスセンターへお問い合わせください。なお、誤った取付けや使用、改造しての使用、台風等の天災による事故などの責任は一切負いかねます。

株式会社 **カーメイト**

〒171-0051 東京都豊島区長崎 5-33-11

商品のお問い合わせ：カーメイトサービスセンター

TEL:03-5926-1212 FAX:03-5926-1218